

式 辞

ただいま卒業証書を授与された162名の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆さま、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

さて、卒業生の皆さん、今日はSEKAI NO OWARIというグループの「ドラゴンナイト」という曲の歌詞について皆さんと考えたいと思います。

私は、この曲の歌詞と争いについてのお話がある先生から聞き、何か考えさせられるものがありました。そして、誤解を恐れずに昨年2月から今なお続いているロシアとウクライナの紛争でもいえることですが、今だからこそ、この曲の真意を知ってもらい、思いを伝播しなければいけないと思い、今から、その歌詞を伝えます。

人はそれぞれ「正義」があって、争い合うのは仕方ないかもしれない。だけど僕の嫌いな「彼」も彼なりの理由があると思うんだ。ドラゴンナイト ドラゴンナイト ドラゴンナイト 今宵 僕たちは友達のように歌うだろう。ムーンライト スターリースカイ ファイアバード 今宵 僕たちは友達のように踊るんだ。

私がこの学校で吹奏楽の顧問をしているときによく使っていた曲で、今きいてもらった歌詞はその一部分です。

皆さんはこれから生きていく中で、どうしても好きになれない人と出会うかもしれません。そのようなとき、先ほど紹介した歌詞が道しるべになるとうれしいです。

人はそれぞれ「正義」があつて、争い合うのは仕方ないかもしれない。だけど僕の嫌いな「彼」も彼なりの理由があると思うんだ。

争いとは、まさにお互いの主張、つまり正義の衝突です。お互いに譲れないんです。先生も同じように思い、自分のことばかり主張してきました。でもこの歌詞と争いについての話に出会ったとき、「そうだよな。」と心に残りました。

今までは、「わたしが」「自分が」つまり、自分を中心とした我(が)の世界で生きてきました。まさに我の主張です。「相手はどんな気持ちだろう。」「相手はなぜそんな態度なのか。」と相手を中心にした考えができていませんでした。

だからといって、どんな人とも仲良くできる人もなかなかいないと思います。悲しいことですが、どうしても好きになれない人はいるでしょう。そんな中で、皆さんがどうするべきか、それをこの歌が訴えているのではないのでしょうか。

この歌詞の神髄は、相手の立場を尊重しているところです。そして、嫌いな彼なりの正義を理解しようとしています。

さらに深く見ていくと「だけど僕の嫌いな彼(も)」と歌っています。「彼も」ということは「自分も自分なりの理由がある」とわかってくるのです。相手の立場を考えるとということが、自分を認めることにつながっています。

そして、「今宵、僕たちは友達のように歌うんだ。」「友達のように踊るんだ。」と言っています。「友達になつて」ではありません。許せないけれど、争いをやめて、「友達のように」振る舞うと歌っているのです。

絶対に受け入れがたい人と皆さんが出会ったとき、カーっとなつてるときこそ、まずは落ち着くことが大事です。勢いにまかせて衝突してはいけません。相手と距離を置くことも大事です。時間がかかってもいいから、感情を抑えてください。

そして一番大事なのが、なぜ相手が自分に怒っているのか。相手なりの正義を考えてみてください。すると自分がこだわっているところ、つまり、自分なりの正義もわかってきます。結果、お互いが傷つけあうよりも「友達のように」することのほうが賢いことがわかってくると思います。

「問題に立ち向かってこそ、私たちは成長するのです。」と、フレッド・ロジャーズもこの歌と同じようなことを言っています。

皆さんにとって仲の良い友達と問題なく過ぐしているときは、あまり成長しないかもしれません。自分の受け入れがたい相手、つまり問題と出会い立ち向かったときこそ、成長できると言っているのです。「絶対無理。」といって、決して交わることのない相手、目の前の問題から目をそむけ、立ち向かわなかったならば、「自分自身が成長するのは絶対無理。」と言っているのと同じです。皆さんの成長のカギが、自分の正しさばかりを主張するのではなく、彼なりの正義を考えることなのです。

混沌としていて、争いの多い世の中、今こそ、この曲の素晴らしさにスポットライトがあたり、皆さんへのメッセージとなることを期待したいと思います。

さあ、皆さん卒業です。皆さん一人ひとりの輝かしい未来と幸せを心よりお祈りし、式辞とします。

令和5年3月14日

枚方市立 長尾中学校長 葉山 秀樹